

障害福祉施設 評価結果一覧表

評価項目	指定管理者自己評価結果	評価機関評価結果
I. 総則		
1. 施設の目的に基づいた基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。	A
2. 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設目的を達成できているか。	A
3. 従事者の勤務実績・配置状況	管理職を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績・配置状況は適切か。	A
4. 従事者のマナー	利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接客マナーは適切か。	A
5. 施設の設置目的を実現するために必要な人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組がなされているか。	A
6. 人権擁護啓発への取組	利用者に対し、不適切な行為が行われぬような体制を整えているか。	A
II. 施設・設備の維持管理		
1. 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A
2. 備品の管理	施設の備品が適切に管理されているか。	A
3. 清掃業務、植栽・樹木等の維持管理業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。施設周りの植栽・樹木等が適切に管理され、利用者が快適に過ごせるような良好な景観が保たれているか。	A
4. 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	A
5. 施設衛生管理業務	入浴や食事サービスを提供するに当たり、施設の衛生管理や感染症対策を適切に行っているか。	A
III. 運営業務及びサービスの質の向上		
1. 利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A
2. 適切な利用情報の提供	すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか。	A
3. サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか。	A
4. 従事者間での情報共有	従事者間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A
5. 個人情報の保護	個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A
6. 事故防止対策への取組	事故防止のための体制の構築・取組を行っているか。	A
7. 事故発生時の対応体制の構築	事故発生時の対応体制が確立されているか。	B
8. 災害発生時の対応体制の構築	災害発生時の対応体制が確立されているか。	A
9. 利用者の意見・苦情を抽出し、解決する体制の構築	利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。利用者の意見や苦情を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A
10. 利用者アンケートの実施	サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A
11. 各種相談業務	利用者代表からなる利用者会議を開催し、利用者の意見や課題がある場合には対応策を講じているか。	A
12. 虐待防止関係業務(権利擁護業務)	虐待防止に係る各種活動を適切に実施しているか。	A
13. 適切なサービス提供の実施(生活介護事業)	生活介護事業において、適切なサービスを提供しているか。	A
14. 適切なサービス提供の実施(児童デイサービス事業)	児童デイサービス事業において、適切なサービスを提供しているか。	
15. 適切なサービス提供の実施(自立訓練事業(機能訓練))	自立訓練事業(機能訓練)において、適切なサービスを提供しているか。	
16. 適切なサービス提供の実施(自立訓練事業(生活訓練))	自立訓練事業(生活訓練)において、適切なサービスを提供しているか。	
17. 適切なサービス提供の実施(就労移行支援事業)	就労移行支援事業において、適切なサービスを提供しているか。	
18. 適切なサービス提供の実施(就労継続支援事業)	就労継続支援事業において、適切なサービスを提供しているか。	
19. 入浴・排泄に係る介助に適切な実施	入浴・排泄等の解除サービスを適切に実施しているか。	A
20. 食事に係る介助の適切な実施	食事に係る介助サービスを適切に実施しているか。	A
21. ボランティアとの協働	地域のボランティアを発掘し、施設運営に活用しているか。	A
IV. 地域及び地域住民との連携		
1. 地域や地域住民との交流・連携の取組	地域や地域住民との交流・連携に関する取組を実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A
V. 収支状況		
1. 管理経費(指定管理料)等の執行状況	管理経費(指定管理料)は適正に執行されているか。	A
2. 収支決算状況	予算と決算に大幅な相違がないか。収入-支出がプラスになっているか。	+
3. 利用料金収入実績	事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。	95.9%
→該当施設(施設)のみ評価を実施する		95.9%
4. 経費節減の取組	経費節減のための努力を行っているか。	実施

項目	指定管理者自己評価	第三者評価機関特記事項
I. 総則	ご利用者に安心して気持ちよく過ごしていただけるように、接遇や事故防止の研修等の取り組みが日々の支援に生かされている。	利用者一人ひとりの状況やニーズに応じたきめ細かな対応ができる従事者体制や従事者スキルとなっています。
II. 施設・設備の維持管理	感染症対策は、最新の情報を基に更新し周知徹底している。環境整備においては、毎日確認し気が付いた時に、すぐに対応している。	維持管理費節減のため、日常清掃・消毒のみならず、定期清掃(年2回実施)、植栽・樹木の維持管理業務についても従事者が自前で対応しています。
III. 運営業務及びサービスの質の向上	各種マニュアルの整備を行い、場面に応じた対応を明確にし、周知している。各種アンケートを行い、ご利用者のご意見やご要望を把握し、サービス向上に努めている。	利用者のプライバシーや使い勝手、利用者一人ひとりの障がいの状況に応じたきめ細かな対応がなされています。 過去3ヶ年(令和1~3年)のアンケート結果の推移からは、利用者の本施設の満足度が年々改善傾向にあることが見て取れます。 みずき園のすぐ西側に氾濫危険のある河川が流れており、利用者の多くが重度の障がい者であることを考えると、近隣施設との連携等により、水害時を想定した実効性の高い避難対策の構築が望まれます。
IV. 地域及び地域住民との連携	近隣の保育園、中学校、ボランティアの方々と共に築いてきた繋がりを絶やさないよう、コロナ禍の今でも出来ることを考え工夫しながら交流している。	近隣に障害児施設「さいたま市杉の子園」があるものの、障害児施設は障害児施設どうしの交流が盛んで、当園との交流機会は限られるとのことでした。相互交流機会の拡充が望まれます。
V. 収支状況	コロナ禍で感染症対策や利用人数減の影響もあり、収入は伸びなかった。申請できる補助金等もはまれなく申請し活用していきたい。	利用料金収入は、概ね計画どおり徴収できており、経費削減のために「従事者でできることは従事者でやる」スタンスが徹底されています。
VI. その他	コロナ禍で中止あるいは縮小していた活動を感染対策を講じながら徐々に再開している。面談や保護者会等ご希望に応じてオンラインでも実施している。	マニュアル類は全般に良く整備されていますが、記載内容が古かったり、誤字があるマニュアルが散見されます。マニュアルの更新時に内容の精査が望まれます。

評価結果についての講評

総じて良好な施設運営とさらなる改善の取組がなされていることを高く評価します。当施設の強みと長年培ったネットワークを活かして、民間の障害者福祉施設とは一線を画する指定管理者としての特長ある取組を継続されることを期待します。

指定管理者からの意見

今回の第三者評価制度により、改めて施設の管理運営について振り返る機会となりました。今回の結果を全職員で共有し、評価していただいたことは更に深め、ご指摘やご提案をいただいたことは、課題として取り組みご利用者の皆さんにとってよりよいサービス提供ができるよう今後の施設運営に活かしていきます。